

シリコンバレーで学んだこと

長谷川 源 和
Genna HASEGAWA
物質化学科 3年

1. はじめに

私は8月17日から8月28日までアメリカのシリコンバレーにある HackLetter にて研修させていただきました。私が海外でのインターンシップに参加することを選んだのは自分の視野をもっと広げ、的確な判断を出来るようになったり、流暢に英語を話せるようになりたいと思ったからです。日本とは全く違う、海外の企業でインターンシップを行い、海外で生活すれば目標を簡単に達成出来ると甘く考えていましたが、実習させていただいて、自分自身が当初考えていたこととは大きく異なることが分かりました。よって、このインターンで何を学べるのかを現地で改めて考え直す必要がありました。

そこで考えたインターンシップの目標は、たくさんの事に挑戦して、その難しさと自分の力を知ることです。特に日本と勝手の違うシリコンバレーで自分自身の力を試し、これからの課題と目標を考えようと思いました。

2. 会社概要と研修内容について

HackLetter は主にシリコンバレーの様々な情報を発信する会社です。上手なコミュニケーションの取り方など社会人に役立つ情報から、シリコンバレーと日本のインターンシップの違いなど学生に役立つ情報、イスラエルの今後の IT の将来性やアメリカの大学の行事について書かれたものなど様々なものがあります。私がそこで行った研修は以下のとおりです。

2.1 得たいこと、反省点、改善点の書き出し

最初に行ったことはインターンシップを通して得たいこと、1年後、5年後、10年後にしたいことを



図1 書き出し

それぞれ25個ずつ30分で書き留めることでした(図1)。初めは簡単にできると思っていましたが、実際にやってみると非常に難しく、時間内に終わらせることが大変でした。また後日、これらをまとめて口頭で発表し、その様子を YouTube にアップしました。

2.2 ミーティング

初日はこの作業の他に、ミーティング形式での挨拶の他、何のために海外に来たのか、何を学んで帰りたいのか、などを実習先の方と話しました。最初、私は英語が上手になりたい、将来仕事するときに役立つ力を身につけて、効率良く物事をこなせるようになりたい、と言っていました。しかし、実習先の方から2週間では到底達成出来ないと言われ、自分の目標を改めて考えるきっかけになりました。

2.3 データのまとめ

二日目から私はエクセルを使って金融、医療ヘルスケア、車について、日本で流行しそうな製品をそれぞれ5つずつ選び、その製品や提供元の会社についての情報をまとめました。この作業は早く丁寧に行う必要があります、時間を有効的に使う大切さを改めて感じました(図2)。

次にエクセルで作った資料をもとにしてプレゼンテーション資料を作成しました(図3)。この作業ではスライドの中に変な隙間ができてしまうなどパワーポイントの編集ミスが目立ってしまいました。次に作成したスライドで口頭発表し、その様子も

候補リスト				売上高			
レポート区分				資本関係			
○:採用							
△:キープ							
×:不採用							
コメント				商品内容			
製品名				適合製品			
住所詳細	金融	医療ヘルスケア	車	紹介動画			
製品サービス				コメント			
注目理由				価格			
会社名				ターゲット顧客			
URL				採用顧客 (our customer)			
所在地							
設立				提携先 (our partner)			
CEO				日本の代理店			
従業員							

図2 エクセルによる資料のまとめ

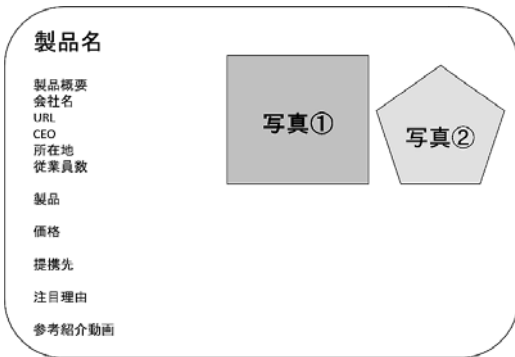


図3 パワーポイントによる資料のまとめ

YouTube にアップしました。この発表は原稿を読みながら行ってしまったので、棒読みになってしまいました。プレゼンテーションはただ原稿を読めばいいというものではないこと痛感しました。

2.4 強みと弱み、チャンスの書き出し

私は実習中ホワイトボードに実習中の強みと弱み、チャンスを書き出しました。私は実習初日に書いたものと、終わりの頃に書いたものを比べ、私はこの2週間のインターンシップで出来ないこともはっきりと分かりました。そして、出来ないことができるようになるための課題を見つけることがこの作業の目的です。

3. インターンシップから得たこと

私はこの海外でのインターンシップでたくさんのごことを得ました。その中で私が特に大切だと思ったことが3つあります。それは仕事において作業の意味を理解すること、目的達成のために必要なことを分析すること、英語についての考えです。作業の意味を理解することはその作業をする自分のモチベーションアップに繋がります。目標の分析は自分自身の課題を明らかにしてくれます。また、英語については、世界中の多くの人が英語を使っており、英語を使える人の少ない日本は今までは世界から取り残されてしまうという確信が得られました。

4. 感想

私がこのインターンシップでとても悔しい気持ちを持ちました。私が海外でインターンする中で出会った人はいろんなことが出来て、毎日活発に行動していました。そうした方々と比べると自分には出来ない事がたくさんあることが分かり、とてもつらく思いました。だから、次にシリコンバレーに来る機会があれば、その時には冷静に考えて、様々な状況で適切な行動をとれるための知識と経験を積んでおきたいと思いました。そのために日本にいる時に積極的に自分から行動を起こして、自分が経験して得てきたものをいつでも使えるようにしようと思いました。毎日忙しくて大変な日々でしたが、改めて気付かされるのがたくさんあって、シリコンバレーに来て本当に良かったです。

5. まとめ

私がこのインターンシップで得たことはたくさんありましたが、何よりもインターンシップで出会った人達に負けたくないと思い、次会う時はこちらからもしっかりと自分自身の意見を発言できるようになろうと決意しました。